

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-59947

(43)公開日 平成6年(1994)8月19日

(51)Int.Cl.⁵

G 07 B 15/00

G 08 B 23/00

識別記号

厅内整理番号

L 8111-3E

N 9377-5G

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号

実開平5-8602

(22)出願日

平成5年(1993)1月25日

(71)出願人 591203565

大東 収義

東京都東大和市狭山4丁目1418番地7

(72)考案者 大東 収義

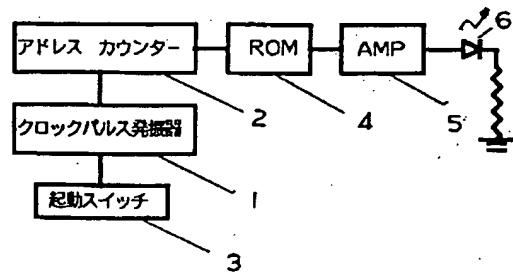
東京都東大和市狭山4丁目1418番地7

(54)【考案の名称】 無停車フリーパス信号発信器

(57)【要約】

【目的】高速道路の料金所などでは一時停車して、現金または回数券で料金を徴収しているので、渋滞の一因となっているから、無停車で連続通過を認め、料金は後日一括徴収することを可能とし、料金所の慢性的渋滞を解消することを目的とするものである。

【構成】クロックパルス発振器、アドレスカウンター、ROM、AMP、赤外線発光光器などで構成する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】登録番号を記憶したROM、とクロック信号発生回路、カウンター回路、電源回路などで構成され、無停車専用ゲート前の所定位置に来た時、ROMの登録番号を読み出し、赤外線発光器または電波を変調発射し、ゲートの通過承認を求める無停車フリーパス信号を発生する発信器。

【図面の簡単な説明】

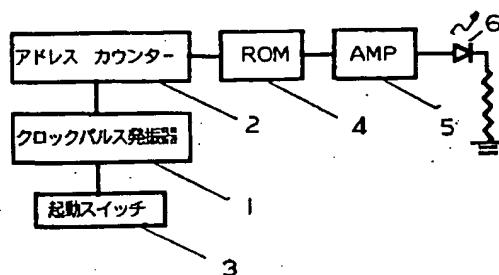
* 【図1】は本考案回路の系統図である。

【符号の説明】

1	クロックパルス発振器
2	アドレスカウンター
3	起動スイッチ
4	ROM
5	AMP
6	赤外線発光器

* 6 赤外線発光器

【図1】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は有料道路の料金所等において、一括後払いを希望する車両に対し登録し、通過料金を後払い一括納入させる場合に使用される。
又は官庁などに於て特定の門を、特定の職員のみの通行を認める場合にも利用することも出来ます。

【0002】**【従来の技術】**

従来の有料道路の料金所では、そのゲート通過の際、車両を一時停車させ、現金又は回数券などで料金を支払はせているので、後続車も一時停車待機を余儀なくされて、高速道路料金所の慢性的な交通渋滞の一因となっている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

有料道路ではゲート通過の際現金または回数券などで支払いを求めているので、一時停車を必要とし、前車が料金の支払いを済ませゲートが通過できるまで、後続の車両は一時停車して待機する必要があり、渋滞の一因と成っている。
若し連続無停車でゲートを通過させ、然も料金を確実、無事に徴収出来る方法が取れれば、一時停車に基づく渋滞は軽減出来る他、監視要員を減員出来るので有利である。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

無停車で連続ゲートの通過を認めることになると、ゲート通過の時確実正確に規定の料金を受け取ることは困難となる他、多数のゲートを通過する者の中には不正を働く不心得も出てくるので、各種の予防手段を講じておく必要がある。例えば無停車連続通過を認める場合、通過記録を正確に取り、一括後払いを求めることがあるが、料金を滞納する場合には、支払いを完了する迄ゲートの通過を差し止める処置ができるようにする必要を生ずる。

【0005】

THIS PAGE BLANK (uspto)

事項を記録し、締め切り日時に料金を集計して登録者に請求する。

もし規定の日時までにその料金が支払はれない場合は未納をマークして、フリーパスゲートを通過することを阻止する処置を探ります。

【0011】

【実施例】

実施例について図面を参照して説明する。

1図は本考案回路の系統図を示す。1はクロックパルス発信器で、2のアドレスカウンターが、3の起動スイッチがONされた時、ROMの読み出しに必要なクロックパルスを発生した後、元の状態に戻ります。

ROMより読出された信号は、4のAMPにより増幅され、赤外線発光器を変調し料金所の受信器により登録番号、通過時刻、ゲート番号などと共に記録され、締め切り日に集計され、通過料金を一括請求することになる。

【0012】

【考案の効果】

本考案は以上説明したように構成されているので、無停車フリーパスを希望する登録者は専用のゲートを無停車で通過できるようになるので、料金所の慢性的な渋滞は軽減されることになり、料金所では後日一括して料金を徴収出来るので、監視要員も縮小できることになります。

【0013】

THIS PAGE BLANK (USPTO)